

京都大学交響楽団 四万十市公演



2011年

8/30 **火** 午後6時開場 / 6時30分開演

会場：四万十市立文化センター

Program (プログラム)

ベートーベン作曲 交響曲第五番『運命』より第1楽章

ブラームス作曲 ハンガリー舞曲第五番

ビゼー作曲 組曲『カルメン組曲』より前奏曲、アラゴネーゼ、間奏曲、アルカラの竜騎兵、ハバネラ、トレアドール
中村西中学校吹奏楽部との共演

(高橋宏樹作曲 ストリート・パフォーマーズ・マーチ)

アンダーソン作曲 Sleigh Ride The Waltzing Cat

ジブリメドレー

チャイコフスキー作曲 バレエ組曲『白鳥の湖』より情景、ワルツ、4羽の白鳥の踊り、終曲

入場整理券/一般：500円 (高校生以下無料)

●主催 四万十川国際音楽祭実行委員会 ・ 共催 高知県立美術館

●後援/高知新聞社・朝日新聞高知総局・読売新聞高知支局・毎日新聞高知支局・産経新聞高知支局・日本経済新聞高知支局・RKC高知放送・NHK高知放送局・KSSさんサンテレビ・エフエム高知
KUTVテレビ高知・中村ロータリークラブ・四万十ロータリークラブ・四万十ライオンズクラブ・国際ソロプチミスト幡多・中村青年会議所・中村商工会議所・土佐くろしお鉄道

京都大学交響楽団

四万十市公演

2011 8/30 火 午後6時開場 / 6時30分開演 会場：四万十市立文化センター

京都大学交響楽団

京都大学交響楽団は、1916年12月、本学医学生、深瀬周一氏の尽力により、ヴァイオリン五線会を母体とし、「学生交響楽運動の推進、音楽の啓蒙活動、市民交響楽団の結成」をスローガンに掲げ、京都を「音楽芸術のメッカ」とすることを目的に創立されました。

当時は数少ないプロオーケストラの活動によってようやく交響楽が日本に定着し始めたところで、その主な担い手であった学生たちは学生オーケストラを結成しました。その中で京都大学交響楽団は、1917年からの年2回の定期演奏会を通じて大いなる発展を遂げ、「京都フィルハーモニーオーケストラ」というプロオーケストラへの一時的な転身、チャイコフスキーの「白鳥の湖」「交響曲第6番悲愴」、ベートーヴェンの「コリオラン序曲」「交響曲第2番」、ラヴェルの「亡き王女のためのパヴァーヌ」等の本邦初演。ベートーヴェンの「交響曲第9番」の関西初演。朝比奈隆などの多くの著名な音楽家を輩出するなど関西楽団の中心としての役割を果たしてきました。

戦中戦後も年2回の定期演奏会は欠かさず続けられてきましたが、音楽人口の増加、それに伴うプロオーケストラの充実といった、楽壇の変化の中で、当団は「専門化団体活動」から「学内サークル活動」へと変貌を遂げました。その後もアマチュアオーケストラとして、近衛秀麿氏、山田一雄氏、また当団OBでもある朝比奈隆氏などの著名な指揮者を客演にお迎えして、着実に発展を遂げてきました。戦後は通常の定期演奏会以外にも、年1回の夏の演奏旅行、ジョイントコンサート、5年に一度の東京公演他、積極的な演奏活動を行っております。

レパートリーとしては以前からドイツ古典音楽、ベートーヴェンやブラームスを積極的に演奏してきましたが、近年はマーラーやショスタコーヴィチ、R・シュトラウスなど大編成の曲や、オペラからの管弦楽曲も取り上げています。多彩な客演指揮の下、このような様々な曲の演奏を通してアマチュアオーケストラならではの時間と情熱をかけた純粋な音楽づくりを目指し、日々励んでおります。

～次回の演奏会のお知らせ～

ナサニエル・ローゼン チェロリサイタル

(第6回チャイコフスキー国際コンクール優勝者)

日時：11/2(水) 午後7時開演 会場：四万十市立中央公民館

プログラム ■ バッハ：無伴奏チェロ組曲 ほか

■ チケット取扱所

アピアさつき・サニーマート四万十店・市内楽器店
鈴ハイヤー・沢近画廊・田中屋・土佐くろしお鉄道中村
駅売店・ドコモショップ四万十東店・教委西土佐事務所
市立文化センター・市立中央公民館

[会場ご案内図]



P お車でお越しの方は、中村小学校校庭をご利用ください。